PC98-NXシリーズ

NEC

Mate/Mate J

はじめにお読みください

タイプMF(液晶一体型)
(Windows Vista™ Businessインストールモデル)
(Windows® XP Professionalインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、
・ Windows Vista™ BusinessをWindows Vistaと表記します。
・ Windows® XP ProfessionalをWindows XPと表記します。

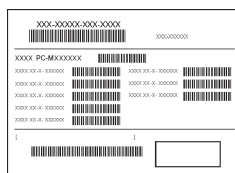
なお、本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

❶　❷　❸　❹❺❻❼❽

PC-M□□□□F□□□□□3

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	18	1.80GHz
	24	2.40GHz
	30	3.06GHz
	34	3.46GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	A、R	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	X	インテル® Celeron® D プロセッサー

❹ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	E	17型TFT-LCD（SXGA）
	R	15型TFT-LCD（XGA）

❺インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	B	Windows Vista Business	Ofifce Personal 2007 with PowerPoint 2007
	A		Office Personal 2007
	R		なし
	F	Windows XP Professional	Office Personal 2007
	J		Office Personal 2003
	E		なし

❻FDD、DVD/CDドライブ、キーボード＆マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	DVD/CDドライブ	キーボード＆マウス
	A	FDD	CD-ROM	テンキー付きPS/2小型キーボード（黒）＆ 光センサー PS/2マウス
	B		DVDスーパーマルチドライブ	
	E		CD-R/RW with DVD-ROM	

❼通信機能、合計メモリ、グラフィックアクセラレータ、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>通信機能</th><th>合計メモリ</th><th>グラフィックアクセラレータ</th><th>再セットアップ用媒体</th></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td rowspan="6">LAN</td><td>1GB(1,024MB×1)</td><td rowspan="6">チップセットに内蔵</td><td rowspan="3">再セットアップ用媒体添付＆再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td>512MB(512MB×1)</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>256MB(256MB×1)</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>1GB(1,024MB×1)</td><td rowspan="3">再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納</td></tr>
<tr><td></td><td>U</td><td>512MB(512MB×1)</td></tr>
<tr><td></td><td>S</td><td>256MB(256MB×1)</td></tr>
</table>

❽ハードディスクの容量の種類を表しています。

✓	型　番	ハードディスクの容量
	B	40GB
	8	80GB

※ 上記の❶～❽の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	18	1.80GHz
	24	2.40GHz
	30	3.06GHz
	34	3.46GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	A、R	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	X	インテル® Celeron® D プロセッサー

❹ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	E	17型TFT-LCD（SXGA）
	R	15型TFT-LCD（XGA）

❺ インストールOSの種類を表しています。

✔	型　番	インストールOS
	R	Windows Vista Business
	E	Windows XP Professional

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と、選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されている選択任意があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶ PC-D-KB□□□□、PC-E-KB□□□□はキーボード、マウス、USBメモリを表しています(選択必須)。

✔	型　番	キーボード、マウス
	RS21	PS/2 109キーボード＆PS/2マウス
	USL1	USB 109キーボード&光センサー USBマウス
	10S1	テンキー付きPS/2小型キーボード(黒)＆光センサー PS/2マウス
	UFP3	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード&光センサー USBマウス
	UFU3	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード＆ 光センサー USBマウス＆USBメモリ

❷ PC-D-H□□□□3、PC-E-H□□□□3はハードディスクの容量を表しています(選択必須)。

✔	型　番	ハードディスクの容量
	SF40	40GB
	SF80	80GB
	SF12	120GB
	HF80	80GB(Hybrid HDD)
	HF12	120GB(Hybrid HDD)

❸ PC-D-M□□□□3、PC-E-M□□□□3は合計メモリの容量を表しています（選択必須）。

✓	型　番	合計メモリの容量
	SE25	DDR2 SDRAM　256MB（256MB×1）
	SE51	DDR2 SDRAM　512MB（512MB×1）
	DE10	DDR2 SDRAM　1GB（512MB×2）
	SE10	DDR2 SDRAM　1GB（1,024MB×1）
	DE20	DDR2 SDRAM　2GB（1,024MB×2）

❹ PC-D-C□□□□3、PC-E-C□□□□3はDVD/CDドライブを表しています（選択必須）。

✓	型　番	DVD/CDドライブ
	VEC2	CD-ROM
	XED2、VED2	DVD-ROM
	XER2、VER2	CD-R/RW with DVD-ROM
	XEM2、VEM2	DVDスーパーマルチドライブ

❺ PC-D-NE□□□□、PC-E-NE□□□□は通信機能、FDDを表しています（選択必須）。

✓	型　番	通信機能、FDD
	FLC3	LAN＆無線LAN（IEEE802.11a/b/g）
	FDDH	LAN＆FDD

❻ PC-D-AP□□□□、PC-E-AP□□□□は選択アプリケーションを表しています（選択任意）。

✓	型　番	選択アプリケーション
	SSE8	Office Personal 2003
	SPE9	Office Professional Enterprise 2003
	SSE2	Office Personal 2007
	SPE2	Office Professional 2007
	SPP2	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007

❼ PC-D-SPE□□3、PC-E-SPE□□3は再セットアップ用媒体を表しています（選択任意）。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	VB	再セットアップ用DVD-ROM Windows Vista Businessモデル用
	XP	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Professionalモデル用

❽ PC-D-S□EFE3、PC-E-S□EFE3はセキュリティ機能を表しています（選択任意）。

✓	型　番	セキュリティ機能
	V、X	FeliCaポート（外付け）

❾ PC-D-EX□□□3、PC-E-EX□□□3は保証サービスを表しています(選択任意)。

✓	型　番	保証サービス
	4HY	標準保証拡張G3 [4年間翌営業日出張修理]
	3HY	標準保証拡張G3 [3年間翌営業日出張修理]
	4DY	動産総合保険付標準保証拡張G3 [4年間引取修理専用]
	3DY	動産総合保険付標準保証拡張G3 [3年間引取修理専用]
	4HJ	標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [4年間翌営業日出張修理]
	3HJ	標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [3年間翌営業日出張修理]
	4DJ	動産総合保険付標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [4年間引取修理専用]
	3DJ	動産総合保険付標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [3年間引取修理専用]

以上で型番を控えるは完了です。
次の「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

❶ 箱の中身を確認する

p.2の1またはp.5の1、p.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

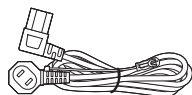
□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□ はじめにお読みください(このマニュアルです)

□ 本体(キーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します)

□キーボード　□ マウス

□サービスコンセント付き電源コード　□ケーブルホルダー

マニュアル

□ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□アプリケーションCD-ROM ／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定＆修理に関するご案内

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□ 再セットアップ用DVD-ROMまたは再セットアップ用CD-ROM

DVD/CDドライブの種類がCD-R/RW with DVD-ROM、またはDVDスーパーマルチドライブを選択した場合添付

□ WinDVD for NEC CD-ROM / Easy Media Creator 9 CD-ROM
(Windows Vistaモデル)

□ WinDVD 5 for NEC CD-ROM / Easy Media Creator 9 / DLA CD-ROM
(Windows XPモデル)

DVD/CDドライブの種類でDVD-ROMを選択した場合添付

□ WinDVD for NEC CD-ROM
(Windows Vistaモデル)

□ WinDVD 5 for NEC CD-ROM
(Windows XPモデル)

アプリケーションを選択した場合添付

マニュアル

□ 選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003、
Microsoft® Office Personal 2007、
Microsoft® Office Professional 2007、または
Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
(p.3 1-❺、またはp.7 2-❻で選択アプリケーションの種類がわかります)

キーボード、マウスで指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを選択した場合添付

□ 指紋センサ(ライン型) ユーザーズガイド

キーボード、マウスで指紋センサ機能付きUSB小型キーボード＋USBメモリを選択した場合添付

□ USBメモリ

セキュリティ機能を選択した場合添付

□ FeliCa Secure Client / FeliCaポート自己診断 CD-ROM

□ FeliCaポート（外付け）

保証サービスを選択した場合添付

マニュアル

□ 標準保証拡張G3または動産総合保険付標準保証拡張G3

❷ 本体の背面にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。

次の「3　設置場所の決定」へ進んでください。

3 設置場所の決定

設置場所を決める

◯設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃、湿度20%～80%（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

✕設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機（本体とキーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します）の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

・本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
・本機の接続部は、背面および両側面にあります。いきなり壁際に本機を置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
・通風孔をふさがないようにできるだけ周囲に15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル、コード(電源コード、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次の「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
  故障の原因となります。

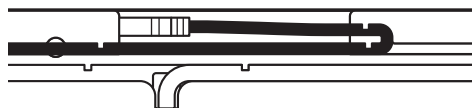
添付品の接続方法

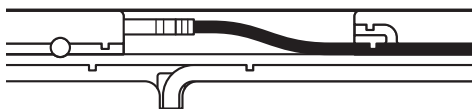
1. マウス、キーボードを接続する

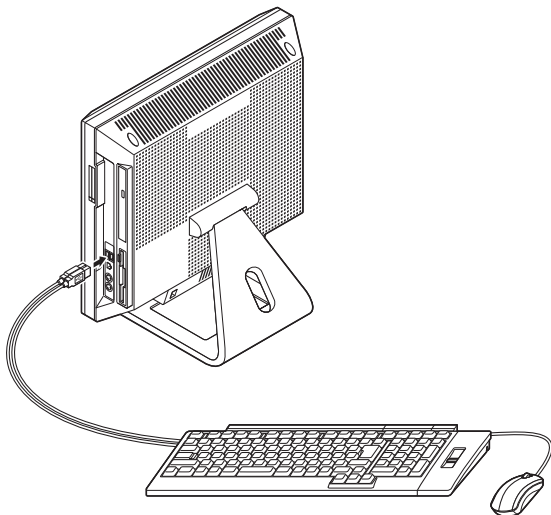
お使いのキーボードにより、❶〜❸のいずれかで接続してください。

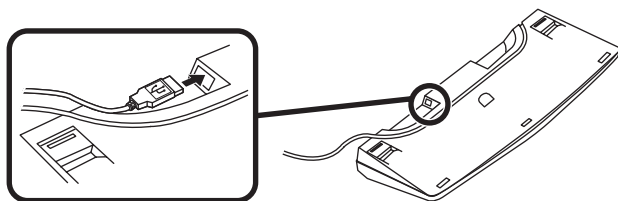
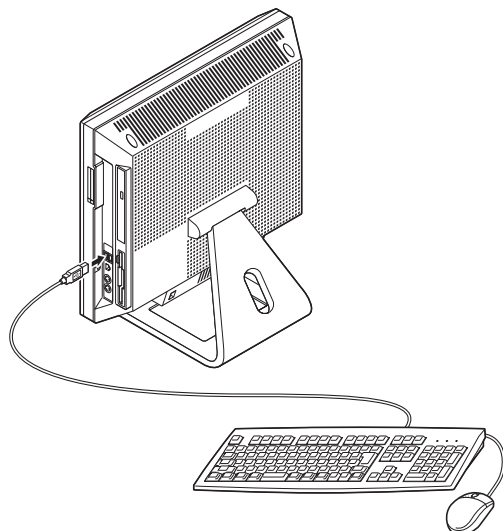
❶ 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを接続する場合

① 添付のマウスをキーボード内側のUSBコネクタ(⭠)に接続し、マウスのケーブルをキーボードの溝に固定する

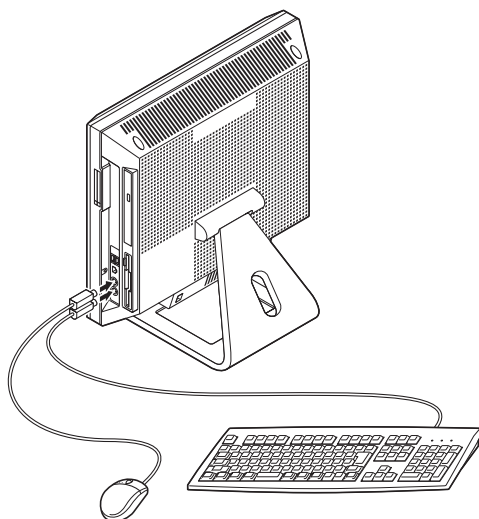
■マウスをキーボード右側に引き出す場合

指紋センサ機能付きUSB小型キーボードにUSBメモリを接続する場合は、キーボード外側の強化用USBコネクタ(⭠)に接続してください。また、USBメモリを抜き差しする際にマウスケーブルを圧迫しないようにご注意ください。

■マウスをキーボード左側に引き出す場合

②キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

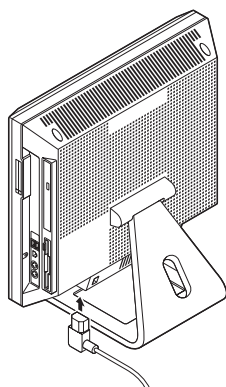
- 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを本体に接続する際は、二本のケーブルを確実に接続してください。
- 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードは、外部ハブを挟んで接続しないでください。

❷ USB 109キーボードを接続する場合

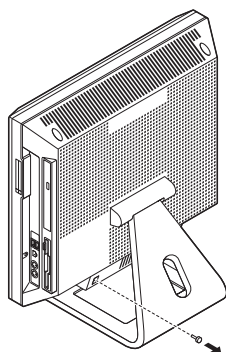
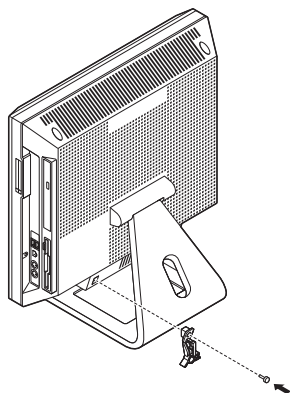
① 添付のマウスをキーボードに接続する

② キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

❸ テンキー付きPS/2小型キーボードまたはPS/2 109キーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

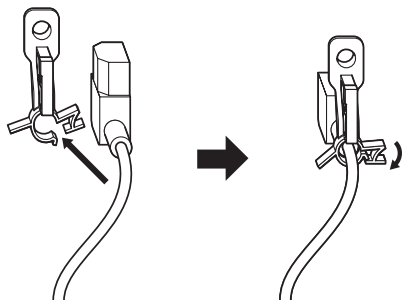
添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を本体の同色のアイコンに従ってそれぞれ接続する

PS/2接続のキーボードを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

2. アース線、電源コードを接続する

次のイラストを見て電源コード、ケーブルホルダー、アース線を接続してください。

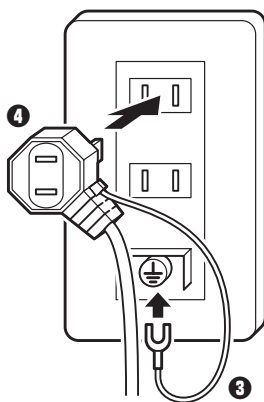
❶ 本体に電源コードを接続する

❷ ケーブルホルダーを取り付け、電源コードを固定する

① リアカバーのネジを1か所外す

② ケーブルホルダーを取り付け、ネジを締める

③ ケーブルホルダーのツメを広げて、電源コードを取り付ける

④ ケーブルホルダーのツメを閉じて、電源コードを固定する

❸ コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース線の端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

❹ 電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。
次の「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- **システム設定を変更しない**
  Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更するとWindowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- **途中で電源を切らない**
  途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.25「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

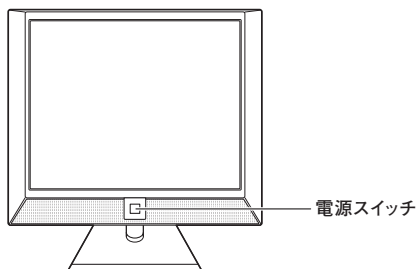
Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

❶ 電源スイッチを押す

電源ランプが点灯します。

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録　機能一覧」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows Vistaのセットアップ」、またはp.23「2. Windows XPのセットアップ」に進んでください。

1. Windows Vistaのセットアップ

Windows Vistaのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのモニタによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順③～⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、内容を確認する

をクリックすると、「ライセンス条項」の続きを読むことができます。

❷内容を確認後、「ライセンス条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❸「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワードを入力し、さらにユーザーアカウントで使用する画像を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

❹「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、デスクトップの背景を選択して、「次へ」ボタンをクリック

❺「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」、「重要な更新プログラムのみインストールします」、または「後で確認します」のいずれかを選択する

❻「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

❼ ❸でパスワードを設定した場合は、パスワードを入力する

❽「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

❾ (「スタート」ボタン)をクリック

❿ (「ロック」ボタン)の横にある をクリックし、表示されたメニューから「シャットダウン」をクリック

自動的に電源が切れます。

ハイブリッドハードディスク搭載モデルをお使いの方は、Windowsにハイブリッドハードディスクを正しく認識させるために、引き続き次の手順を行ってください。その他のモデルをお使いの方は、以上でWindows Vistaのセットアップは完了です。本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。p.26「LANケーブルの接続」へ進んでください。

⓫ 電源スイッチを押す

⓬ Windowsにハイブリッドハードディスクを認識させる

約5 ～ 10分、本機の電源を入れたままの状態でしばらくお待ちください。

以下の方法でハイブリッドハードディスクが正しく認識されていることを確認することができます。

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

⓭「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

⓮「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」をクリック

⓯「ディスクドライブ」以下のドライブをダブルクリック

⓰ プロパティ画面で次のように表示されていることを確認する

デバイスの種類：ディスクドライブ
製造元　　　　：(ハイブリッド ハードディスク)

以上でWindows Vistaのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。p.26「LANケーブルの接続」へ進んでください。

2. Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのモニタによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックすると、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

⑩「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザー名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー 1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⑪「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

⑫「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

⑬「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

⑭「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上でWindows XPのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。p.26「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源コードの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む**
  電源コードを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージ(「Windows エラー 回復処理」画面など)が表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows は起動しません。Windows を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  いったん電源を切った後で電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、30秒以上間隔をあけてから、電源を入れてください。その後、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。次の「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。
本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷ Windows Update、またはMicrosoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Update、またはMicrosoft Updateを定期的に実施してください。
Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
Windows XPモデルをお使いの場合は、Microsoft Updateについて、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査･駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールすることを推奨します。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。
引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターのウイルスパターンファイルなどを1年間更新できる権利を購入する必要があります。

ウイルスバスターについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

メモ

・ Windows Vistaのセキュリティ機能（Windowsセキュリティセンター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネット セキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定など、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳細は、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
・ Windows XPのセキュリティ機能（Windowsセキュリティセンター）では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、次の「2. LANケーブル（別売）を接続する」へ進んでください。

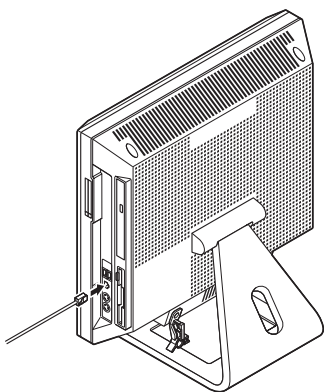
2. LANケーブル（別売）を接続する

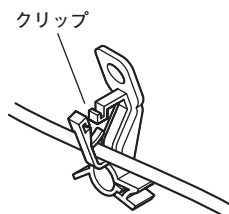
必要に応じて次の接続を行ってください。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続するときは、LANケーブル（別売）を使い、次の手順で接続します。

❶ 本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを、本体のアイコン（品）に従って接続する

LANケーブルを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

メモ

フロッピーディスクが挿入しやすいように、LANケーブルを本体の後ろに収納できます。
イラストのようにLANケーブルをケーブルホルダーにセットしてクリップを閉じてください。LANケーブルは、フロッピーディスクドライブの前を通らないようにしてください。

LANケーブル以外にも、USBケーブルやキーボード、マウスのケーブルも収納できます。

❷ ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

※LANの設定については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
次の「3. パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

3. パターンファイルのアップデート

本機ではWindows起動前にウイルスバスターのウイルスパターンファイルをアップデートできるAlways アップデートエージェントを使用することができます。
Always アップデートエージェントは、Windows起動前にパターンファイルのアップデートを行うことができるため、従来と比べウイルス感染の危険性をより低減させることができます。

Always アップデートエージェントは、購入後のWindowsのセットアップ直後、あるいは再セットアップ用DVD-ROMまたは再セットアップ用CD-ROMを使用した標準再セットアップ直後のみ追加することができます。Always アップデートエージェントを使用する場合は、運用前(Windowsのセットアップ終了直後)に追加してください。

Always アップデートエージェントの追加/設定方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Always アップデートエージェント」をご覧ください。

以上でパターンファイルのアップデートは完了です。
次の「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街(お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

- Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街(お客様登録)」からでも登録することができます。
- Windows Vistaモデルでは、Microsoft社へのお客様登録は、ウェルカム センターの「Windows のオンライン ユーザー登録をします」で行うことができます。ウェルカム センターは「コントロール パネル」の「システムとメンテナンス」にあります。
- Windows XPモデルでは、Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、p.32「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(Mate Jではプリインストールされているos以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、Office Professional Enterprise 2003、Office Personal 2007、Office Professional 2007、またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※

『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』

無線LAN各機能について知りたいときにお読みください。

●『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』

モデルによって、『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』が添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル』　※

本機のセキュリティチップ機能について確認したいときにお読みください。

●『保証規定&修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECのビジネスPC/Express 5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

1. Windows Vistaモデルの場合

❶ CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「スタート」ボタン→「コンピュータ」をクリック

❸ CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

2. Windows XPモデルの場合

❶ CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸ CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
  「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「製品マニュアル」にある「PC98-NXシリーズ電子マニュアルビューア」から電子マニュアルビューアをご覧ください。
  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次の「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- 「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 再セットアップ用媒体

Windows VistaでDVDスーパーマルチドライブを搭載したモデルをお使いの方は、再セットアップ用データを市販のDVD-R媒体に書き込み、「再セットアップ用DVD-ROM」を作成することができます。
また、Windows XPでCD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブを搭載したモデルをお使いの方は、市販のCD-R媒体に書き込み、「再セットアップ用CD-ROM」を作成することができます。

再セットアップ用媒体の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。
再セットアップ用媒体を作成する場合は、必ずService Packの変更やEasy Media Creator 9のアップデート前に行ってください。

ハードディスクが故障したり、ハードディスク内にある再セットアップ用データを消去した場合、ハードディスクから再セットアップすることができなくなります。このような場合に備え、再セットアップ用媒体を作成しておくことをお勧めします。
再セットアップ用媒体の作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Service Packについて

Windows XPモデルにはService Pack 2がインストールされています。
Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2を削除する場合は十分に注意してください（使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください）。

4. 不正使用/盗難防止について

スーパーバイザ／ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能（スーパーバイザ／ユーザパスワード）、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能（ハードディスクパスワード）、内蔵部品（メモリやハードディスクドライブ）の盗難を防止するため、錠をかける機能（筐体ロック）があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

5. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

6. セキュリティの設定

❶ セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化（EFS）機能、Personal Secure Drive（PSD）機能を利用できます。
これらの機種では、本体にハードウェア的にTPM（Trusted Platform Module）と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。
詳しくは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」の『セキュリティチップユーティリティマニュアル』をご覧ください。

❷ NASCA（NEC Authentication Agent）

NASCAは、指紋、FeliCa対応カード、USBメモリなど、複数の認証デバイスを使用した高度な個人認証機能を提供します。
認証を受けていない第三者が本機を使用することを防止したり、Webサイトへのアクセスやアプリケーションの実行に必要な情報（パスワードなど）を自動的に保存、入力することができます。
保存された情報は、セキュリティチップと連携することによって、安全に管理されます。
詳しくは、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.pdf」をご覧ください。
なお、NASCAを使用できる認証デバイスは、セレクションメニューで選択したデバイスのみです。

❸ 暗号化ファイルシステム（EFS）

EFS（Encrypting File System）は、Windows Vista Business、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。
また、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定することができます。
詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。

❹ 指紋認証機能

指紋認証機能とはパスワードの入力のかわりに、指紋センサを使って指紋による認証を行うシステムです。
この機能は、「指紋センサ機能付きUSB小型キーボード」を選択した場合のみ使用でき、本機ではNASCAと連携して、Windowsのセキュリティを強化できます。
詳しくは、『指紋センサ（ライン型）　ユーザーズガイド』をご覧ください。

❺ FeliCaカード認証機能

NASCAと連携し、FeliCaに対応したカードを利用して、Windowsログオンやスクリーンセーバーのロック解除などを行うことができます。
詳しくは、『FeliCaポートマニュアル』をご覧ください。『FeliCaポートマニュアル』は、「FeliCa Secure Client/FeliCaポート自己診断 CD-ROM」の「f_manual」の「index.htm」をダブルクリックすると表示されます。
なお、FeliCaカード認証機能＊は、「FeliCaポート（外付け）」を選択した場合のみ使用できます。
＊Edy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。

❻ユーザーアカウント制御

Windows Vistaモデルでは、アプリケーションを起動したり、本機を操作しているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。
「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意あるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

詳しくは「ヘルプとサポート」の「セキュリティとメンテナンス」-「ユーザー アカウント制御」をご覧ください。

7. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。また、トラブル時の修復に備えて、「Windows Vista セットアップディスク」または「Windows XP セットアップディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。
「Windows Vista セットアップディスク」および「Windows XP セットアップディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全かつ快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れすることをおすすめします。詳しくは、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART5　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

型名*1			MY24A/FE-3 MJ24A/FE-3	MY18R/FE-3 MJ18R/FE-3	MY34X/FE-3 MJ34X/FE-3	MY18R/FR-3 MJ18R/FR-3	MY30X/FR-3 MJ30X/FR-3
CPU			インテル® Core™2 Duo プロセッサー E6600	インテル® Core™2 Duo プロセッサー E4300	インテル® Celeron® D プロセッサー 360	インテル® Core™2 Duo プロセッサー E4300	インテル® Celeron® D プロセッサー 347
	クロック周波数		2.40GHz	1.80GHz	3.46GHz	1.80GHz	3.06GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		12Kμ命令実行トレース×2/16KBデータ×2		12Kμ命令実行トレース/16KBデータ	12Kμ命令実行トレース×2/16KBデータ×2	12Kμ命令実行トレース/16KBデータ
	2次		4,096KB	2,048KB	512KB	2,048KB	512KB
システムバス			1,066MHz(メモリバス:667MHz)	800MHz(メモリバス:667MHz)	533MHz(メモリバス:667MHz)	800MHz(メモリバス:667MHz)	533MHz(メモリバス:667MHz)
チップセット			ATI Radeon™ Xpress 1100/SB 600				
セキュリティチップ*2			TPM v1.2準拠				
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2]				
表示機能	グラフィックアクセラレータ		ATI Radeon™ Xpress 1100に内蔵				
		ビデオRAM	最大128 ～ 832MB				
	解像度・表示色	800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*3			最大1,677万色*3*31	
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*3			最大1,677万色*3*31	
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*4			最大1,677万色*32	
		1,680×1,050ドット(WSXGA+)	最大1,677万色*32				
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*32				
	液晶ディスプレイ*33		17型TFTカラー液晶(SXGA)			15型TFTカラー液晶(XGA)	
		LCDドット抜け*34	0.00013% 以下			0.00034% 以下	
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル*36、ビームフォーミング*37)				
	スピーカ/スピーカ定格出力		ステレオスピーカ内蔵(LCD部)/1.0W+1.0W				
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載				
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備				

型名*1			MY24A/FE-3 MJ24A/FE-3	MY18R/FE-3 MJ18R/FE-3	MY34X/FE-3 MJ34X/FE-3	MY18R/FR-3 MJ18R/FR-3	MY30X/FR-3 MJ30X/FR-3
インターフェイス	USB		6(LCD部左側面×4、右側面×2)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB小型キーボード選択時、2ポートをキーボードで占有済]、USB2.0対応*8				
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応				
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1				
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGBセパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15 ピン×1				
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]				
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1				
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1*38 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧2.5V)				
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms)				
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)				
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(出力レベル 1Vrms)				
記憶装置	FDD		無線LANを選択しない場合内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*9				
拡張スロット	PCカードスロット		Type Ⅰ/Ⅱ×2スロット (TypeⅢ×1スロットとしても使用可能、PC Card Standard準拠、CardBus対応)				
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)				
消費電力*13(最大構成時) ※Windows Vista™ Businessの測定値			約70W (最大約115W)	約67W (最大約111W)	約89W (最大約143W)	約47W (最大約91W)	約60W (最大約113W)
消費電力*13(最大構成時) ※Windows® XP Professionalの測定値			約67W (最大約113W)	約68W (最大約112W)	約90W (最大約144W)	約47W (最大約91W)	約59W (最大約111W)
皮相電力*13(最大構成時) ※Windows Vista™ Businessの測定値			約71VA (最大約117VA)	約68VA (最大約113VA)	約90VA (最大約144VA)	約49VA (最大約94VA)	約62VA (最大約115VA)
皮相電力*13(最大構成時) ※Windows® XP Professionalの測定値			約70VA (最大約117VA)	約69VA (最大約114VA)	約92VA (最大約146VA)	約48VA (最大約94VA)	約60VA (最大約113VA)
エネルギー消費効率 (2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows Vista™ Businessの測定値			j区分 0.0006 (AAA)	j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0025 (A)	j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0023 (AA)
エネルギー消費効率 (2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows® XP Professionalの測定値			j区分 0.0006 (AAA)	j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0024 (AA)	j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0023 (AA)
電波障害対策			VCCI ClassB				
外形寸法(本体)			410(W)×225(D)×437(H)mm *16				
質量(本体)*15			約13.1kg			約11.6kg	
温湿度条件			10 ～ 35℃ 、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)				
インストール可能OS *17*18			Windows Vista™ Business Windows® XP Professional(SP2)*19				
主な添付品			サービスコンセント付き電源コード、ケーブルホルダー、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他				

＊ 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。

＊ 2: プリインストールのWindows Vista™ BusinessおよびWindows® XP Professional以外では使用できません。

＊ 3: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。

＊ 4: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。

＊ 8: USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。

＊ 9: 1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です (標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。

＊ 13: メモリ512MB、最小容量HDD、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、FDDあり、テンキー付きPS/2小型キーボード、PS/2マウス(光センサー)の構成にて測定しています。

＊ 14: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

＊ 15: メモリ512MB、最大容量HDD、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、FDDありの構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)

＊ 16: 足以外の突起物は含みません。

＊ 17: 「SP」は 「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは ( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は ( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊ 18: インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。また、Mate Jではプリインストールされているos以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「ダウンロード」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションや一部の機能が使用できない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊ 19: 以下のOSとセレクションメニューの組み合わせは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Hybrid HDD選択時は、Windows® XP Professionalが使用できません。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がありますので＊18をご覧ください。

＊ 27: ビデオRAMは、メインメモリを使用します。ビデオRAM容量は、搭載するメインメモリの容量によっては異なります。

＊ 31: 本体内蔵液晶ディスプレイでは、グラフィックアクセラレータのディザリング機能によって、擬似的に表現されます。

＊ 32: 本体背面のミニD-sub15ピンにアナログディスプレイを接続する場合のみこのモードを表示することができます。なお、このモードをサポートしていないディスプレイにつきましては表示することができません。

＊ 33: 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては＊34もご覧ください。

＊ 34: ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。詳細はhttp://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。

＊ 36: 録音中にスピーカが引き起こすハウリングを軽減する機能です。

＊ 37: ステレオマイク使用時にこの機能を有効にすると、マイクを向けていない方向からのノイズを軽減させることができます。

＊ 38: パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。

＊ 44: 使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。

◆セレクションメニュー*51

型名*1		MY24A/FE-3 MJ24A/FE-3 MY18R/FE-3 MJ18R/FE-3 MY34X/FE-3 MJ34X/FE-3 MY18R/FR-3 MJ18R/FR-3 MY30X/FR-3 MJ30X/FR-3
再セットアップ用データ*52	標準	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53
	選択可能	再セットアップ用DVD-ROM添付&再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53(Windows Vista™の場合)、 再セットアップ用CD-ROM添付&再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53(Windows® XPの場合)
メモリ*55	256MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、256MB DIMM×1
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、512MB DIMM×1
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、512MB DIMM×2
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、1,024MB DIMM×1
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、1,024MB DIMM×2
FDD		無線LANを選択しない場合内蔵
ハードディスク	40GB	約40GB(2.5型)*86、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応
	80GB	約80GB(2.5型)*58、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応
	120GB	約120GB(2.5型)*58、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応
	80GB (Hybrid HDD)	約80GB(2.5型)*58、Serial ATA、5,400rpm、256MBフラッシュメモリ搭載、SMART機能対応
	120GB (Hybrid HDD)	約120GB(2.5型)*58、Serial ATA、5,400rpm、256MBフラッシュメモリ搭載、SMART機能対応
DVD/CDドライブ*61*62	CD-ROM(薄型)	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大10倍速
	DVD-ROM(薄型)*64	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大5倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD-RAM読み込み:最大4倍速*69
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速*92、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71*72
USBメモリ		512MB(USB2.0対応)
通信機能	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)*81*82	IEEE802.11a/b/g準拠*83*84、WPA2対応、WEP対応[暗号鍵長64/128ビット(ユーザ設定鍵長40/104ビット)]*88
セキュリティ機能	FeliCaポート*74	FeliCaポート(外付け)(USB接続、ケーブル長:約70cm)。 OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などにEdy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:396(W)×172(D)×35(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付
	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード*74 & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、指紋センサ内蔵、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75*91、USBインターフェイス、外形寸法:435(W)×165(D)×41(H)mm、質量:約1.1kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付

＊ 51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。
＊ 52: セレクションによっては、再セットアップ用DVD-ROM(Windows® XPでは再セットアップ用CD-ROM)は本体添付されていません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。
＊ 53: HDD内の約4GB(Windows® XPでは約3GB)を再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をDVD-R(Windows® XPではCD-R)媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでDVDスーパーマルチドライブ(Windows® XPでCD-R媒体に書き出す場合にはCD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブ)の選択が必要です。
＊ 55: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊ 58: 40GB(Windows® XPは20GB)がNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、最後の約4GB(Windows® XPは約3GB)を再セットアップ領域として使用しています。
＊ 61: メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊ 62: コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊ 64: Windows Vista™ではDVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD® for NEC」が、Windows® XPではDVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC」が添付されます。
＊ 65: Windows Vista™では書き込みツール「Roxio Easy Media Creator® 9」が、Windows® XPでは書き込みツール「Roxio Easy Media Creator® 9/DLA」が添付されます。
＊ 66: バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊ 67: DVD-RはDVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 68: DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 69: 片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)は使用できません。またWindows® XP標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊ 71: DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしていません。
＊ 72: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 74: プリインストールのWindows Vista™ BusinessおよびWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊ 75: USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は未サポートです。
＊ 76: 光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊ 81: 業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しています。
＊ 82: 無線LAN(5GHz)は、IEEE802.11a準拠(J52/W52/W53)です。J52/W52/W53は社団法人電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://nec8.com/products/wireless/index.html をご参照ください。無線LAN(5GHz)の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
＊ 83: 接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。
＊ 84: Windows® XPではSuper AG®、Atheros XR®(eXtended Range)に対応しています。
＊ 86: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、最後の約4GB(Windows® XPは約3GB)を再セットアップ領域として使用しています。
＊ 88: Windows® XPでは「WEP対応[暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)]」となります。
＊ 91: USBポートのうち、右側面1ポートは挿抜耐性を強化したコネクタを採用しています。
＊ 92: DVD-R 2層書き込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したメディアの書き込みに対応しています。ただし追記には未対応です。作成したDVD-R(2層)ディスクについては、当社製パソコンに搭載されているDVD-R(2層)対応ドライブでのみ読み込みが可能です。

LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps
	100BASE-TX使用時：100Mbps
	10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上
	100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m ／ステーション間 100BASE-TX：最大約200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約500m ／ステーション間 最大100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。

Windows XPモデルの場合、無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG®」※4および長距離化技術「Atheros XR®（eXtended Range）」※5に対応しています。

●2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66 ※7
通信速度	IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1 IEEE802.11b : 11/5.5/2/1（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbps時）
無線チャンネル	1 ～ 13ch（アクティブスキャン）
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4 ～ 2.4835GHz）
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WEP（Windows XPモデルの場合：鍵長64bit/128bit/152bit※2、Windows Vistaモデルの場合：鍵長64bit/128bit※3） IEEE802.1X

●5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71※7
通信速度	54/48/36/24/18/12/6(Mbps)※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch(アクティブスキャン) 34ch、38ch、42ch、46ch、52ch、56ch、60ch、64ch(パッシブスキャン)※8
周波数帯域	5GHz帯域(5.15 ～ 5.35GHz)※6
セキュリティ	WPA(TKIP/AES) WPA2(AES) WEP(Windows XPモデルの場合:鍵長64bit/128bit/152bit※2、Windows Vistaモデルの場合:鍵長64bit/128bit※3) IEEE802.1X

※1: 各規格による速度(理論値)であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※2: 設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。

※3: 設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※4: Super AG®機能を利用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG®に対応している必要があります。

※5: Atheros XR®機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もAtheros XR®に対応している必要があります。

※6: 5GHz無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

※7: ARIBについての表記の説明は、「「無線LAN(IEEE802.11a/b/g)」について」－ご注意 をご覧ください。

※8: パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

10 Windows Vista利用時の留意事項

Windows Vistaご利用の際は、従来のWindows XPに比べて次の点が異なることにご留意ください。

1. システムフォントはJIS2004対応

Windows Vistaではシステムフォント*1、およびIME(かな漢字変換モジュール)がJIS2004 (JIS X 0213:2004)対応となります。JIS2004ではWindows XPで採用しているJIS90(JIS X 0208:1990)に比べて文字数が拡張されており、かつ一部文字の字体が変更されております。そのため、従来のJIS90環境と混在した場合、拡張された文字が表示/印刷されなかったり、字体が変わって表示/印刷されたりする場合があります。
Windows VistaでJIS90環境を使用するためには、マイクロソフト社より提供されるJIS90互換フォント*2を適用し、かつIME(かな漢字変換モジュール)の設定により変換候補の文字をJIS90の範囲に絞り込む必要があります。
JIS90互換フォントの入手方法については、Windows Vista情報ポータルサイト(下記)にてご紹介しております。

＊1：Windows XPでも提供されていた「MS明朝」、「MS P明朝」、「MSゴシック」、「MS Pゴシック」、「MS UI Gothic」の5書体に加え、Windows Vistaより新規追加された「メイリオ」。
＊2:「メイリオ」についてはJIS90互換フォントは提供されません。

2. ブラウザはInternet Explorer 7

Windows VistaではブラウザがInternet Explorer 7 (以下IE7)になります。IE7では従来のInternet Explorer 6 (以下IE6)に比べてタブブラウザ方式の採用や表示仕様の一部が変更されているため、Webサイトによっては正しく表示できない場合があります。また、セキュリティ機能の強化に伴い、従来のIE6とは一部動作が変わる場合もありますので、業務システムなどでご利用になる場合はご注意ください。

3. 通信設定はIPv6

Windows Vistaでは通信プロトコルの標準設定はIPv6となっており、IPv6で通信できない場合には従来のIPv4で通信を行う仕様になっております。そのため、工場出荷時のままIPv4しか対応していないネットワーク環境でご利用になる場合、動作が遅くなる場合があります。
Windows Vistaにはネットワーク設定でIPv6を無効化する機能が用意されております。ご利用にあたっては、十分な評価を行うことをお奨めします。
設定方法については、Windows Vista情報ポータルサイト(下記)でご紹介しております。

＜NEC ビジネス PC 向け Windows Vista 情報ポータルサイト＞

http://nec8.com/products/vista.html

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vista、Windows XPおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載されている内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

初版 2007 年 5 月

853-810602-260-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。